

2009年1月5日
東日本旅客鉄道株式会社

12月29日に発生した新幹線輸送障害について

昨年12月29日早朝に発生した新幹線の輸送障害により、年末の帰省などで新幹線をご利用される多くのお客さまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

今回、その輸送障害の原因が判明したため、対策と併せてお知らせいたします。

1. 概況

12月29日早朝、新幹線総合システム(COSMOS)の変更計画・入力作業及び日付切替作業に手間取り、始発から東北、上越、長野、山形、秋田の各新幹線で運転を見合わせましたが、復旧作業を行い、8時55分に運転開始しました。

2. 原因

12月28日の長野新幹線の車両故障や山形・秋田新幹線の強風、雪害等により朝からのダイヤ乱れがあり、全列車の運転が終了したのが翌29日の1時33分となりました。

一方29日は、年末年始期間でも特にお客さまのご利用が多く、臨時列車を含め上下合計389本の運行を予定しておりました。その確保を最優先と考え、車両の留置箇所・運用等の変更を計画し、COSMOSの変更計画・入力作業を行いました。その作業が終了したのが、5時45分になりました。

その後、システム上の12月29日とする日付切替作業を行いました。5時以降の日付切替作業となったため、切替手順に時間を要することになり、8時55分に運転開始となりました。

3. 対策

輸送影響が深夜まで及ぶような場合には、計画変更の制限や体制を強化するなど、5時までには日付切替作業を行うこととします。